

いずもぎき 議会だより

第91号
2016 平成28年4月21日

特集

平成28年度 当初予算



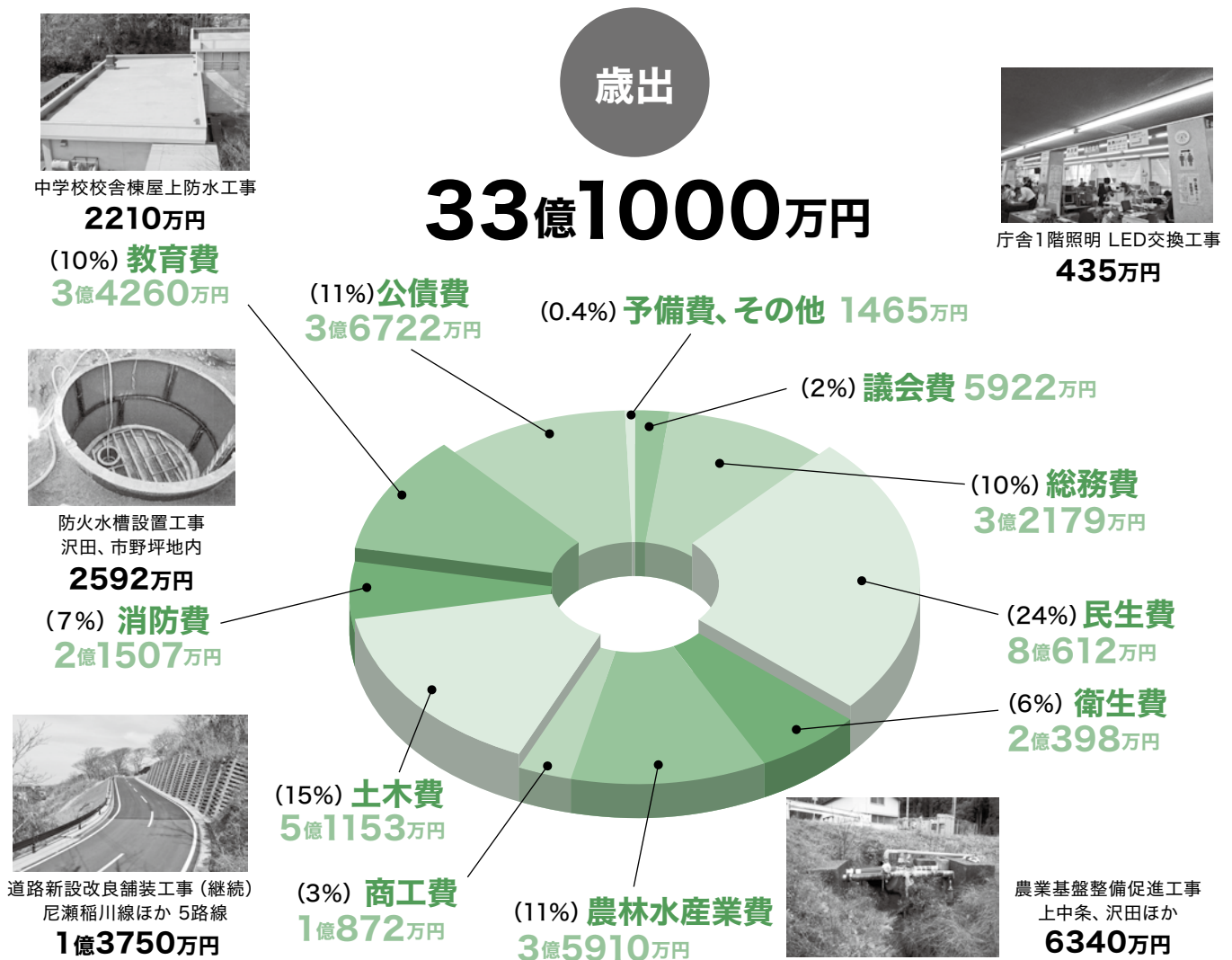
もくじ

平成28年度予算	2
予算審査特別委員会	4
3月定例会	6
2月臨時会	8
全員協議会	9
視察研修報告・政務活動費	10
一般質問(3人が町政をただす)	11
町民の声(夏の愉しみ方)	14

平成28年度予算は 地方創生に向けた 総合戦略を予算化

平成28年度一般会計当初予算は、慎重審議の結果、全会一致により可決いたしました。

歳出の内訳



総合戦略の主な内容は

婚活支援

出会いサポート事業委託料、他	158万円
町新生活スーパー住まい取得・リフォーム支援補助金	720万円
高校生通学費助成金	253万円

子育て支援

育児スキルトレーニング委託料	25万円
放課後児童クラブ整備工事	850万円
子育て支援センター整備工事 設計業務委託料	150万円



※表示単位未満の端数整理により、合計と一致しないことがあります。

平成28年度当初予算は52億1600万円

(前年度比 -3.1% 1億6530万円減額)

一般
会計

33億1000万円 (前年度比 -2.2% 7600万円減)

特別
会計

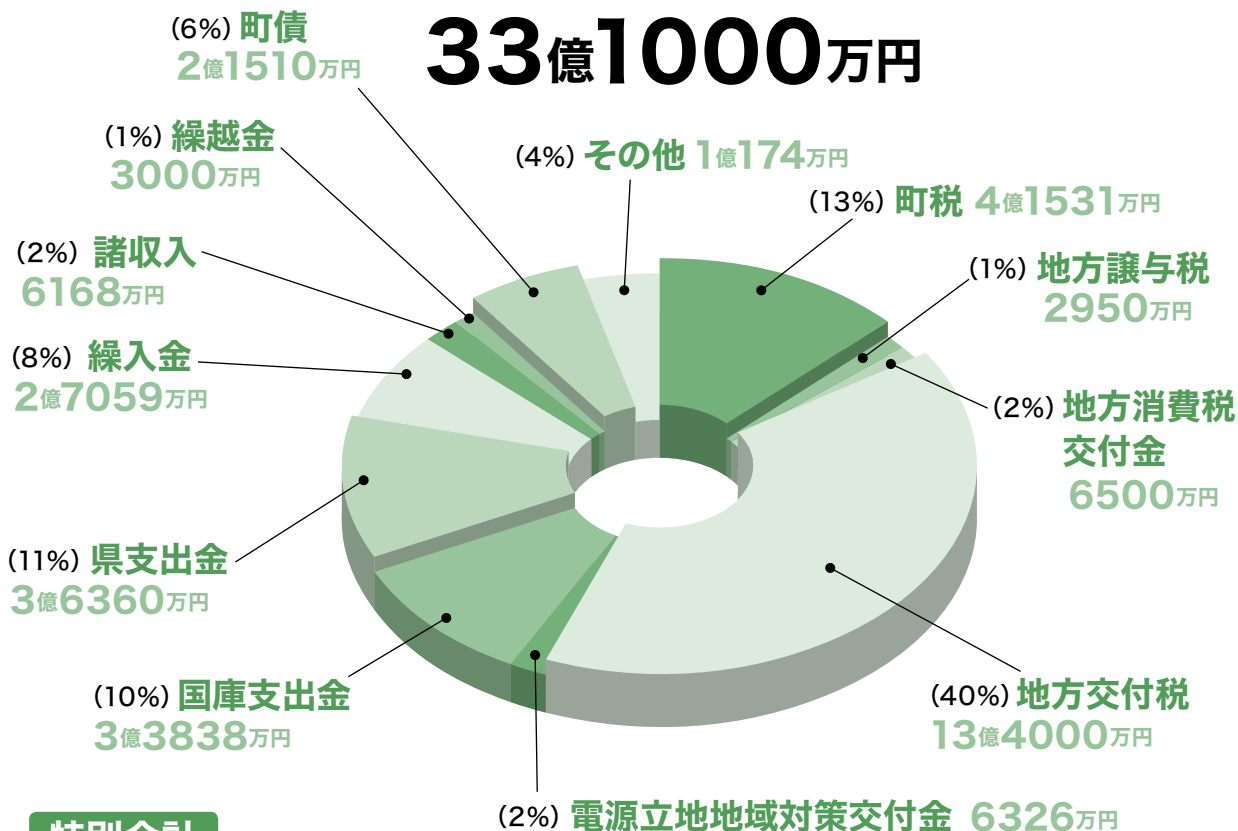
特別会計では、松本地内に住宅団地を造成

19億600万円 (前年度比 -4.5% 8930万円減)

歳入の内訳

歳入

33億1000万円



特別会計

会計名	平成28年度	対前年度増減額	増減率
国民健康保険事業	6億3200万円	△1100万円	△1.7%
介護保険事業	6億7300万円	△3100万円	△4.4%
後期高齢者医療	5480万円	△310万円	△5.4%
簡易水道事業	1億8740万円	△2850万円	△13.2%
特定地域生活排水処理事業	1460万円	△330万円	△18.4%
農業集落排水事業	1億1270万円	△2360万円	△17.3%
下水道事業	1億8250万円	△2730万円	△13.0%
住宅用地造成事業	4900万円	3850万円	366.7%
計	19億600万円	△8930万円	△4.5%

ここが聞きたい!!

予算審査特別委員会

平成28年度一般会計・特別会計は予算審査特別委員会に付託して審議しました。

委員会での主な質疑内容を掲載します。



三輪 正 委員長

空き家・定住

中川議員 空き家等管理システム保守管理委託料とあるがどの位の数を想定しているか。

総務課長 現在80軒を想定しているが、今後、増えると思う。

諸橋議員 空き家再利活用支援事業費補助金だが、予算を増額し対応すべきでは。

総務課長 平成27年度・28年度と1件ずつの利用であり、今後もPRを行っている。

宮下議員 新生活スーパードーム取得・リフォーム支援補助金の、年齢制限はどうか。また、空き地空き家バンクとの関係はどうか。

建設課長 対象は40歳未満か、中学生以



徹底した空き家対策を

下の子どもがいる世帯。町外からの転入者には20万円上乗せし補助を行う。空き地空き家バンクとは一緒にPRしていきたい。

諸橋議員 定年退職等で転入する方は対象になるか。

建設課長 U・Iターンで町外からの転入者にも補助を行う。

子ども・子育て

加藤議員 子どもの医療費助成が減額されているが、理由を伺う。

保健福祉課長 18歳まで助成対象だが、高校生の受診が少ないための減額である。

高桑議員 子ども発達支援事業報償費とはどのようなものか。

教育課長 療育教室や、言葉の教室を行うもので、場所や開催日数は、これから検討する。

高桑議員 育児スキルトレーニング委託料はどのようなものか。

教育課長 保護者への児童虐待防止の講座で長岡市のNPOに委託をする。

仙海議員 新たな放課後児童クラブの開設時期はいつになるか。また、現在と比べて面積等により受入児童数に変更は生じないか。

保健福祉課長 夏休みに工事

を行い、10月を目途に開設したい。面積は約50㎡で、昨年度と受入児童数は変えない。

宮下議員 新たにチャイルドシートを購入するが、利用率と貸し出しの期間はどうか。

総務課長 乳幼児用は90台あり、88台を貸し出している。今後、乳幼児が増えることが見込まれ追加する。期間は法定使用年齢まで。

中野議員 小学校農作業等体験授業委託料はJAに委託している。農業委員会等もあるがJAになった経緯は。

教育課長 5年生を対象に行っているものはJAに委託だが、他の学年については農業委員も係わるなど、学校・地域・家庭が連携して行っている。

観光

加藤議員 海浜清掃業務委託料とあるが、浜辺に船を置く漁業者にとってはゴミと一緒に砂も付くが、多少の堆積処理費用は含まれないか。

産業観光課長 ゴミ関係の処理費用で、砂の堆積処理は含まれない。

宮下議員 イベント全般に
いえるが、町の知名度を上げるには良いと思う。しかし、今後は町にある資源を活かした観光立町を行うべきではないか。

町長 現在は過疎債でイベントを行っている。一定の時期での終了も考え、時



大盛況さかなまつり

代にあったイベントを行っていく必要がある。

中川議員 長岡北スマートインターの開通に伴い、出雲崎までのロードサイン看板を設置するが、一つのルートだけではなく数カ所のルートに案内看板を設置すべきでは。

総務課長 検討する。
田中議員 大漁さかなまつりは予算を増額して大々的に行うべきではないか。

産業観光課長 漁協の組合員などの減少で事業拡大が難しいが、他の団体と協力する等の検討を行い対応したい。

福祉

宮下議員 高齢者福祉タクシー利用料助成は、長期通院を必要とする方へ特例として条件助成できないか。

保健福祉課長 現在は月に2回通院していると、2回分助成している。「長期間の通院」とは、医師の判断基準が大変難しく今後検討していく。

加藤議員 子宮がん・乳がん検診に係る費用が減額されているが、受診率を上げていくべきではないか。

保健福祉課長 平成27年度の実績に基づき予算を組んだ

ため、今後も受診率向上にはしっかりと取り組む。

高桑議員 配偶者暴力相談業務委託料とあるが、どのような方法で周知を行うのか。

保健福祉課長 チラシを配布したり、女子トイレにカードを置いたりすることを考えている。

高桑議員 不妊治療助成はどのようになっているか。

保健福祉課長 県の制度に加え、町独自で20万円を上乗せし助成をする。保健師がきめ細かく対応する。

施設

加藤議員 デーサービスセンターの冷暖房設備入替はどのくらい入れ替えるのか。

保健福祉課長 室内に10基入れ、このうちハビリ室は

かないのでは。
教育課長 撤去後はビーチパラソル型のもので対応したいと思うが、改めて今後検討したい。

仙海議員 陽だまり館土地購入費について、駅前駐車場があり、新たに専用の駐車場を設ける必要はないのではないか。

町長 駐車場のスペースについては充分検討し対応する。

新規。

仙海議員 町民プール休憩所を撤去だが、夏休み等は祖父母が子どもたちをプールに連れてくるので、休憩所の椅子をなくす訳にはい



駐車場ではなく有効活用を

に改修 3億3800万円補正

3月定例会で決まった補正予算

会 計	補正額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第6号)	3億 93万円	41億8544万円
国民健康保険事業 (第2号)	△2061万円	6億5904万円
介護保険事業 (第3号)	△5163万円	6億9967万円
簡易水道事業 (第3号)	△3578万円	1億8356万円
特定地域生活排水処理事業 (第1号)	△ 70万円	1720万円
農業集落排水事業 (第2号)	△ 165万円	1億3740万円
下水道事業 (第2号)	△ 230万円	1億8440万円

一般会計補正予算 (第6号)

主な歳入

- 原子力災害対策事業費補助金 …… 3億8600万円
- 地方創生加速化交付金 …… 800万円
- ※1 ふるさと納税寄附金追加 …… 1670万円
- 地方公共団体情報セキュリティ強化対策費補助金 …… 465万円

主な歳出

- まるごとオーナー創生事業実行委員会負担金 …… 650万円
- ※2 災害時非常用物資追加 …… 263万円
- 間仕切りテント …… 337万円
- 校舎棟避難扉等改修工事 …… 864万円
- ※3 保育対策総合支援事業費補助金 …… 220万円

教えて 定 例 会

※1

ふるさと納税寄附金は
総額でいくらの寄附があったの？

平成27年度は総額で
1871万円だよ

※2

災害時非常用物資追加、
間仕切りテントって？

毛布260枚、敷マット130枚、間仕
切りテントは個人を仕切るもので
100台用意するよ

※3

保育対策総合支援
事業って何？

園児の台帳整備や指導計画等のシ
ステムの導入、事故防止のためビデ
オカメラを設置するんだよ

二つの改善センターを放射線防護施設



西越地区農村環境改善センター



八手地区農村環境改善センター

放射線防護対策工事

気密性を高める工事を行い、気圧を上げ外気を入れない装置でフィルタを通して空気をきれいにしたものをご供給する等の工事を行う。(国からの10割補助)

新しい条例が
制定されました

農業農村整備事業分担金徴収条例

内容 今までは、それぞれの事業ごとに条例を定めていたが、関連する事業の分担金徴収条例を一つにまとめたもの

関連する条例

県単農業農村整備事業・農業基盤整備促進事業・農地耕作条件改善事業

行政不服審査会条例

内容 行政不服審査法等の改正が行われ、4月から施行されるための条例制定
審査請求における最終的な採決の判断を行う前の妥当性について、第三者機関の設置に関する運営方法等を定めるもの

行政不服審査関係手数料条例

内容 審理手続き・審査手続きにおいて、書類等の写しの交付制度が導入されたことによる手数料の額、納付義務を定めるもの

人

案

事

件

監査委員の選任に同意

石川 豊氏
(平成28年4月1日から4年間)

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

山田 廣行氏
(平成28年3月22日から3年間)

臨時会では、工事請負契約の締結、平成27年度一般会計補正予算、特別会計補正予算など議案5件が提出され、慎重審議の結果、原案のとおり全会一致で可決しました。

2月臨時会で決まった補正予算

会 計	補正額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第5号)	3347万円	38億8450万円
特別 会計 住宅用地造成事業 (第1号)	64万円	1114万円

一般会計補正予算 (第5号)

主な歳入

- ・地方交付税…………… 755万円
- ・国庫補助金……………2672万円

主な歳出

- ・高齢者向け臨時福祉給付金……2370万円
- ・除雪費追加…………… 521万円

工事請負契約の締結

中学校校舎、体育館外壁等改修工事

契約金

1億2528万円

指定管理者の指定

休憩所心月輪

指定管理者 心月輪運営組合
指定の期間 平成28年4月1日から3年間

北国街道妻入り会館

指定管理者 NPO法人ねっとわーくさぶらい
指定の期間 平成28年4月1日から5年間

28 22 19

議会議決特別委員会 (議会だより第91号)
政務活動調査視察 (関川村、村上市)
東京出雲崎会総会 (東京)

18 15

全会協賛会
定例会最終日
議会運営委員会

11

現地調査 (消防分遣所視察) ↓ p 10

10

総務文教常任委員会
社会産業常任委員会

9

議会報特別委員会 (議会だより第91号)
3月定例会招集日 ↓ 詳細は p 6, 7

3
・ 1

議会運営委員会
議会運営委員会

↓ p 10

2
・ 19

24 23 18 19 7

全会協賛会
新潟県町村議会議長会定期総会 (新潟市)
臨時会 ↓ 詳細は p 8
社会産業常任委員会現地視察 (心月輪)

1
・ 5

議長会議 (新潟市)
議会報特別委員会 (議会だより第90号)

議会のつどぎ (主なもの)

平成28年1月～3月

全員協議会

主なもののうちから抜粋して掲載しています

第1回 1月19日

●心月輪は新規に

指名指定管理

産業観光課長 3月末で2施設が指定管理を終了する。妻入り会館は、継続してねつとわーくさふらいに、また、心月輪については新たに指名指定としたい。

加藤議員・宮下議員

心月輪について、事業計画があると思うが、採算がとれるか。眺望を活かして営業時間も考慮すべきではないか。営業利益が上れば、町が支援したことが生きる。

三輪議員・諸橋議員

冬季間は集客が厳しい。行政の強いサポートが必要ではないか。

中川議員

眺望を良くするための整備はするか。良寛記念館等との関連から、休日の決め方を再考すべき。また、公衆トイレの管理はどうなっているか。

産業観光課長

営業時間等については、指定管理者からの提案により町と協議のうえ、変

更することができると調整していきたい。また、眺望が良くなるよう、枝払いを考えている。

町長

施設は清潔感第一、トイレにはそれが現れる。点検・管理は検討する。

仙海議員

心月輪は昭和56年竣工である。総合戦略の中で観光施策を一体的に進めるに、将来的には建て替え、あるいは大規模改修が必要ではないか。

町長

新しい指定管理者は意欲を持って対応してもらっている。当面は耐震をして安全を確保しながら、次を考えたい。

●松本地内に

新規住宅用地を造成

建設課長

松本地内の南地区に7区画と東地区に16区画、2カ所に分けて、住宅用地を造成し分譲したいと考える。

●川西ひまわりハウスは

5月連休明けに入居開始か

建設課長

工程的に盛土の補

強を増工したことで3月完成は難しく、5月頃入居予定となる。駅前ひまわりハウスの抽選にもれて入居を希望されている7世帯の方々には説明済みである。一部屋残るので、一般に入居を募る。

第2回 2月24日

●バス路線長岡線

一往復減便となる

総務課長

越後交通から、出雲崎車庫⇨長岡駅便について、午後の便を一往復減便したいとの申し出があった。脇野町までは利用客が確保できているが、そこから出雲崎の間が厳しい状況にある。北越後観光バスと調整を図っていく。

●庁用車の事故状況を報告

総務課長

1月29日、116号線川西交差点で、庁用車と長岡市の女性が運転する軽自動車と衝突する事故があった。信号機のある交差点での事故で、庁用車側の過失により、

町としても誠意を持った対応をしなければならぬ。二度とこのようなことがないように当事者の運転手に深く反省を求めており、また職員にも安全運転を徹底していく。

第3回 3月18日

●町消防団本部队制を強化

総務課長

町消防団について、町外から役場に通う町職員による役場消防隊を組織した。また、防災知識の啓発に取り組むため、町防災士による防災隊を設置し、本部队制の強化を図った。また、第2分団の改編を行った。

●教育にタブレットの活用を

中川議員

小学校にタブレットが整備され、成果が上がっており、これから設置をしていくべきと考える。合わせてWi-Fiを入れていく時代ではないか。補助金はないか。

教育長

機器の活用教育の手法や効果を十分考察した上で検討させていただく。

総務課長

Wi-Fiについて、観光施設を中心に財源措置を考えて行く。

●グループホームの入居について

宮下議員 グループホーム亀さんの家では町外の入居者の方がおられるが、当町の空き待ちの方が出ないよう指導いただきたい。

保健福祉課長

町外の方は市町村間の協議で入所可能である。地域密着型施設は市町村が指揮監督権をもっている。

●出雲崎高校の存続に

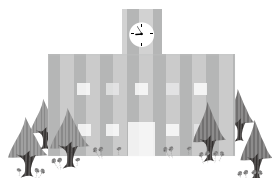
地域の声を

高桑議員

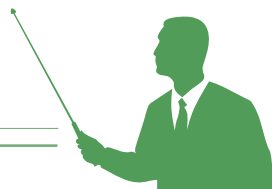
県立高校の再編について、概要が示され、出雲崎高校も対象になっている。地元が存続に熱意を持って対応すべきと考える。

教育長

かつて西越高校が廃校になるという状況のなか熱意をもって存続に対応し、単位制という形で推移してきた。特色ある学校であれば存続との文言がある。なくなる前提ではないことを踏まえながらお願いしていきたい。



視察研修報告



01

休憩所心月輪視察 社会産業常任委員会調査報告

去る2月24日に、当委員会が所管する事務調査として『心月輪』の現地調査を致しました。

調査は、工事の進捗状況や海側景観状況、あるいはその他問題点などの洗出しを中心に行いました。

結果、開業後の集客率や経営状況なども含め、更なる追跡調査が必要であるとの判断から、営業再開後も引続いて、調査を継続して行く事が必要との意見で一致を見たところです。

願わくば再開後、集客や経営が安定し、当町食の拠点の一つとして、繁栄の一途を辿り、町発展の一翼となってくれるよう、当委員会も更に継続し、厳しい中にも暖かい目を持って、その推移を見守って行きたいと考えております。

(社会産業常任委員長 宮下 孝幸)

02

消防分遣所視察

3月定例会期間中の3月11日に議員全員で、新築移転した出雲崎分遣所の現地調査を行いました。調査は地域の安全安心を守る拠点としての新しい分遣所の最新の設備を見聞いたしました。

新しい施設での業務は1月15日に開始。デジタル式無線機となり、暖房は電気に変更し車両の排気は吸収されるシステムを採用。多目的室にはトレーニング機器が揃えられ、仮眠室は個室となりました。常時4～5名の消防隊員の勤務体制で24時間、地域の安全安心を守ってくれる新分遣所に大いに期待します。

(総務文教常任委員長 三輪 正)



平成27年度 政務活動費報告

(単位：円)

議員氏名	交付額	支出内訳				合計	返納金
		調査研究費	研修費	資料購入費	事務費		
山崎 信義	60,000	25,255		37,848	3,834	66,937	0
仙海 直樹	60,000	25,255		77,868	600	103,723	0
宮下 孝幸	60,000	25,255		30,163	7,776	63,194	0
中野 勝正	60,000	25,255		45,624	17,303	88,182	0
中川 正弘	60,000	25,255		51,640		76,895	0
高桑 佳子	60,000	25,255	3,000	49,164	2,780	80,199	0
田中 政孝	60,000	25,255		44,040		69,295	0
三輪 正	60,000	25,255		40,140		65,395	0
加藤 修三	60,000	25,255		46,140	15,058	86,453	0
諸橋 和史	60,000	25,255		46,140	1,350	72,745	0

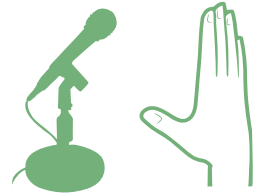
※月額5,000円×27年度活動月数(12カ月)で交付

吉川地区の防災について

町長

住民の生命の確保が最優先

お尋ねします お答えします



諸橋 和史 議員

神条・吉川の 2級河川の改修

諸橋 県への対応、地権者等の対応は、どういった要望をしているか。

町長 吉川橋から下流に330メートルの整備を、六郎女地区の基盤整備事業で計画された。地権者の相続の問題や、一部地権者の理解が得られていない。平成24年から整備が止まっている。相続問

題は解決したが、地権者の理解を得られるよう、町が前面に出て対応していく。

諸橋 平成6年に水害、また3、4年前にも浸水があり、早急に解決してほしい。

町長 河川改修が完成しないとまた災害が起きる。集落関係者の問題では町が前面に出てやらなければならない。



改修が待たれる河川

吉川への道路は 幅員が狭い

諸橋 他町道では拡幅が進められている。道路拡幅の考えはないか。住民に希望を与える答弁をお願いする。

町長 幅員は狭いところで4.3メートル、広いところで6メートル、平均すると4.5メートルで、現段階で支障をきたす状況にない。吉川集落の立地条件等々を考え、安全確保については前向きに十分体制を整えている。

新設された農道を 避難道路に

諸橋 基盤整備で新設された農道を吉川から神条への避難道として整備していく考えはないか。基盤整備の農道は6、7年転用ができない。災害時には重要な道路ではないかと思うが、考えは。

町長 法律、財産確保も大切だが、住民の生命の確保が最優先。農道は河川より下がっている箇所もあり、災害が発生すると、まずあの道路周辺がやられる。その道路を町が指定整備し、そこに避難して災害にあつたら大変なことになる。危険な箇所には避難道路を確保できない。

吉川地区は災害の度に一番困っている。教訓としながら事前予知、避難の万全を期す。生活道路としての一時的な道路利用は良いが、避難道路としては考えていない。



幅員の狭い道路

出雲崎町らしい 子育て支援策を



高桑 佳子 議員

町長

最重要政策として 積極的に進める

出雲崎町における 子育て支援策の課題は

高桑 出雲崎町の総合戦略には、子育てサイクルによる好循環を生み出すため、切れ目のない支援策が打ち出された。当町は、他の市町村に先駆けて、経済的な支援を実施してきたが、医療機関や就労の場、利便性等日常生活上の問題も残る。これから、子育てを地域社会全体で支援していくづくりを進めるにあたって、当町の課題をどう考えているか。

町長 まず、基本的な考え方を述べると、小さな自治体の利点は「近くで顔が見え、お互いに助け合いながらコミュニケーションを図ることができる」これが最も大切な事だと思う。子育てでもこれは基本だと考える。当町の課題としては、次の3点が挙げられる。①地域全体で子育てを支

える体制づくり
②子育ての拠点となる場
が必要

③福祉・医療・教育等、
機関の連携とネット
ワークの構築
マンパワーの充実、人材の育成に真剣に取り組んでいかなければならないと考える。

高桑 総合戦略事業を進めるにあたり、単に箱物を作るのではなく、地域社会が子育てを支援する仕組みづくり、枠組みづくりが必要と考える。

町長 国も子育て政策を徹底的に進める方針であるが、出雲崎町はまず、何をなすべきかを洗い出しながら、きめ細やかに対応していきたい。

子育て支援センターの 計画は

高桑 子育て支援センターの建設は、どのような機関でどのように検討をすすめていくか。

また、各地に参考になる特色ある支援センターが開設されている。出雲崎らしい夢のある子育て支援センターを作るため、すぐにでも検討を始めるべきではないか。

町長 出雲崎町の子育ての核となる場所であるから、十分に機能する形をつくるため、コンサルをいれ、保健、福祉、教育等様々な分野から検討部会を横断的に組織する。28年度に設計、29年度建設、30年度オープン。即やらなければならぬと考えている。

チーム制で行政組織の 一本化を

高桑 子育てに関する行政の組織を一本化することは、切れ目のない支援を展開していく上で有効であるが、課を横断した「チーム制」にして、子育て支援業務体制を整備する考えはないか。

町長 現行の保健福祉課と教育課の子育て支援業務を整理して、子育てを切れ目なく支援できるよう、行政機構の改革も検討する。

子育て支援基金の 設置を

高桑 地域住民の自主的な子育て支援の振興のため、「子育て支援基金」を設置する考えはないか。ボランティアやイベント等の活動を後押しすると同時に、子育て支援に積極的に取り組む町として、町内外に示すことにもなる。

町長 子育て支援施策は、出雲崎町の最重要政策である。基金は設けずに、時代の要請やニーズに応じて、弾力的かつ臨機応変に対応していく。





三輪 正 議員

ふるさと納税推進で 地域振興を

町長

体制を整え徹底して 取り組む

当町の ふるさと納税の現状

【三輪】 全国市町村の取り組み、実績が大きく報じられているが、当町の現状について伺う。

【町長】 平成27年は29件1871万円で、平成20年は582万円で3倍以上になっている。返礼品は汐風米、梅酒、乳製品、笹だんごなど年数回に分けてお送りしている。

【三輪】 弥彦村では村長の強力なリーダーシップにより、今までの100倍で1億円を超えるふるさと納税が集まった。また北海道上士幌町は、人口約5000人で平成26年が約10億円、今年はおそらく15億円くらいの納税額になるとのこと。26年分の納税で今後10年間保育園の保育料が無料となり、またバスを購入する予定。今後町はどのような取り組みを考えているか。

【町長】 当町は大口の納税者がおられるが、今後は弥彦村、燕市、津南町のように広く納税していただけるよう努めたい。東京出雲崎会にもお願いする。ふるさとを応援する気持ちをふるさと納税でお願いしたいと思っている。

地元産品提供で 産業振興を

【三輪】 返礼品に釜谷梅の梅オーナー制度活用や堆肥をふんだんに使った有機栽培コシヒカリ米などを提供することにより、当町の農林水産業や地場産業の振興と宣伝を考えるべきではないか。

【町長】 これが出雲崎かと思われる特産品を開発することは大切である。徹底的に喜ばれる特産品を開発したい。

クレジット払い、 ワンストップ特例を

【三輪】 納税の便宜を考えたクレジット払いや確定申告等の手続きを簡易にするワンストップ特例を考えてはどうか。

【町長】 クレジット払いとワンストップ特例については取り組んでいく。

企業版ふるさと納税の 取り組みを

【三輪】 本年4月から企業版ふるさと納税がスタートする。企業版は自治体が実施する事業で移住、定住の促進や結婚、出産、子育ての環境整備、働く場の創出、農林水産業、観光の振興など当町が進める「地方創生事業」が対象となるもの。積極的な取り組みをすべきと考えるが。

【町長】 寄付先は自治体が地方創生計画を作成し、効率が高いと国が認

定した事業に対して認められる。わが町も受け入れられる体制をしっかりと構築する。

【三輪】 返礼品は品物がほとんどだが、出雲崎を訪れてもらう機会をつくる。

例えば宿泊や飲食、買い物、釣り船、ゴルフなどに利用できるクーポンを発行して町の活性化に活かしてはどうか。

【町長】 出雲崎町においていただくことに対する、町民の皆様の感謝の気持ちの基本。町を応援してもらうには品物も大事だが、目指すものは心だと考えている。





夜の風の匂いが変わると、1年に1度、海岸がジャズに包まれる日が近づく季節を感じ、私は嬉しく思うのです。水平線に落ちていく夕陽を眺めながら、音楽に心を奪われるってなんて贅沢！子どもたちは思い思いのままに体を動かし、特別な夕暮れに心を弾ませる。幼少の頃から本物のジャズの世界に触れられる彼女たちが、心底羨ましい。

ジャズの定番曲の中に、ヘレンメリルの「You'd be so nice to come home to」という1940年代の曲があります。「あなたのもとに帰れたら嬉しい」戦争に赴いた戦士たちが残してきた家族や恋人を思う切ない曲です。災害、不可解な犯罪や事故、そんな短い言葉では表し切れないほど、不安定で哀しい状況が起こり得る現代の世

の中。人は次の一瞬でさえずるかわからない。それでも感謝すべきことに、多くの方に支えられ、日常は今も私たちに訪れます。後悔してもしなくても、心のままに、大切なことは言葉で伝え、笑顔でいたいと願うのです。古い曲を、歴史あるこの町で聴く。温故知新。内陸で生まれ育った私の憧れだった海の町。誰かの非日常の中で暮らせている特権に感謝しています。今年で5年目の出雲崎ストリートジャズ。毎夏、新たな感動と出会えるこの粋な機会を、ぜひ多くの皆様にお勧めしたい次第です。

町民の声

「夏の愉しみ方」

石井町 立石 博美

表紙の小話



冬が嫌いな訳ではありませんが、うららかな春は、やっぱりいい季節ですね。水仙やたんぽぽ、レンギョウ等の鮮やかな黄色が、青い空と海に映えて、出雲崎にはよく似合うと思います。

毎年、春のこの号では、卒業式や入学式が表紙ですが、今回は子どもたちの環境整備のために活躍する「マタギの会」の活動をご紹介します。

1月の大雪の時は、会の方たちが小学校のグラウンドに雪で作ったすべり台と雪山で、子どもたちが歓声をあげました。今回は、ほなみが丘の倒木や枝の伐採をしました。「これは危険だから切ろう」「ここで授業をしたら楽しいだろうな。」子どもたちの明るい笑顔を思い浮かべながら、一生懸命、整備に精を出しておられました。

(高桑佳子)

編集後記

年4回の議会だよりの発行では、前号より少しでも進歩した内容にしたい気持ちで取りかかります。編集委員全員が議会だよりの「いかに町民の皆さんから読んでもらえるか」を考えながら、紙面づくりを進めています。

時々、皆さんから「議会だよりに書いてあったよ」とか「読みやすくなったよ」と聞くと非常に嬉しく、励みになります。これからも「読んでいただく議会だよりの」を目指して努力してまいります。皆さんのご意見をお聞かせください。

町村議会広報全国コンクールに昨年、初めて応募しました。結果は残念ながら入選22町村には入れませんでした。数年以内には必ず入選出来るよう編集委員全員が頑張る覚悟です。皆さんのご協力をお願い致します。(三輪 正)

議会報特別委員会

委員長 高桑佳子
副委員長 加藤修三
委員 仙海直樹
委員 三輪 正

議会だよりの発行予定 発行は年4回。発行日は4月21日・7月20日・10月20日・1月20日です。 議会の傍聴にぜひおいでください。